

【第42回全国高校生読書体験記コンクール 入選!!】

宮崎第一高等学校

第42回全国高校生読書体験記コンクールにおいて、文理科1年1組古屋琥太郎くんの作品「時刻表から日本を見る」が、宮崎県内の選考で上位5作品に入選しました。このコンクールでは、タイトルに「〇〇を読んで」ではなく、体験記の内容にふさわしい独創的なタイトルを自分でつけてくださいとの指定があります。

古屋くんは、鉄道に関する圧倒的な知識と関心を軸に、現在の時刻表と1960年代の時刻表との比較を通して日本の在り方を考察する素晴らしい文章かつ題名でした。

入選おめでとうございます。

【全国高校生読書体験記コンクールとは…】

読書とのかかわりを綴ることで、生き方をより深く考えることにつながるのが「読書体験記」です。

多くの本との出会いの中から、特に心に残っている本、大切にしている本を取り上げ、どのような状況で、どのように読んだか、どのように影響を受けたか、そしてなぜ大切な一冊になったか、などを綴ることを通して、読書が自らの人格形成にとってどれほど重要なものであるか気づいていただくために企画したものです。

読書は人の数だけ多様な好みと読み方、感じ方があるので、取り上げる本のジャンルも限定しません。小説、ノンフィクション、哲学、科学、辞典、図鑑、まんが、絵本など自由です。

ひとりでも多くの高校生の皆さんが、「読書体験記」を綴って、当コンクールに参加してくださることを願っています。

文理科1年1組 古屋 琥太郎 君（第一中出身）

